KOM Town

神楽坂・大塚・目白エリアの店舗や企業を紹介する情報誌「コムタウン」

2015.8.1 VOL.5

Free

ご自由にお持ちください。

Special edition

華の街

新宿区　神楽坂

グランヴィ神楽坂

今月号のKOM Town+iモデル　高村 舞（たかむら まい）
東京都出身2013~15年エンドレスレースクイーン／SUPER GT.S耐

本紙はASA神楽坂・ASA大塚仲町・ASA目白が発行する地域活性情報誌です。地域の新しいお店・おいしいお店・オシャレなお店や昔からこの地域を拠点とされている歴史ある店舗や企業を紹介しています。新聞販売店ならではの機動力と地域に密着した取材力を活かし、最新情報を配信！ ぜひ、地域の皆様の日々の暮らしにお役立てください。

【発行・お問い合せ先】

明日のチカラ、届けます。
Himawarido

ASA神楽坂　〒162-0843新宿区市谷田町3−3　TEL.03-3268-3836
ASA大塚仲町　〒112-0013文京区音羽1-15-12 アルス音羽1F　TEL.03-3941-3068
ASA目白　〒171-0033豊島区高田2-18-24　TEL.03-3971-9436

編集:株式会社朝日メディアネットワーク内KOM Town編集室　TEL.042-548-0578
発 行 日：2015年8月1日
発行部数：45,000部
配布地域：神楽坂、大塚仲町、目白、池袋エリア
※本紙記載の記事、写真、イラストなどの無断使用を禁じます。

本誌掲載の店舗情報一覧は下記の QR コードもしくはURL からご確認頂けます

▼URL はこちら! ※スマホ、ケータイ専用ページです。

http://asa-ok.jp/komtown/list/

komtown 店舗情報

※「ページが見つからない」、「アクセスできない」場合は、QR コードまたは URL より直接アクセスをしてください。

KOM Town

coupon card

有効期限：2015年11月30日まで

- KOM Townに掲載されているクーポン特典付の全店舗にご利用できる共通クーポンカードです。
- 各店指定のクーポン特典をご利用の際は、このカードもしくは本紙を店舗スタッフにご提示ください。
- 各店舗広告内のクーポンQRコードから、Webクーポンをご利用頂く事も可能です。

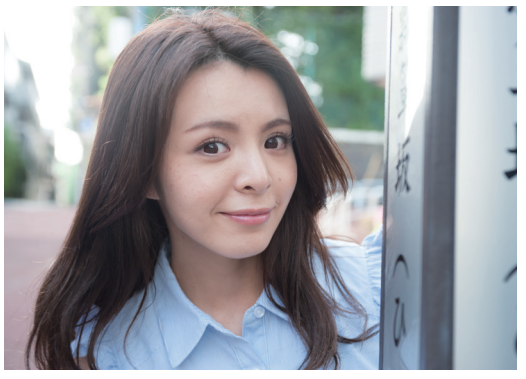
華の街その① 歴史と文化に彩られた神楽坂エリアの坂道をそぞろ歩き

堀に面した庚嶺坂の上り口、人通りも少なくはない

飯田橋の駅から外堀通りを南下し、車通りの多い道を少し行くと神楽坂の坂下に着く。その有名な道は平日でもたくさんの人が行き交い、わいわいと賑やかな音が聞こえてくる。いつもならそのまま上がっていく坂を脇目に通り過ぎ、そのまま真っ直ぐ歩いた。少し進んだ右側に庚嶺坂（ゆれいざか）が北西にのぼっている。

この坂には異名が多く、「庚嶺坂」を代表に「若宮坂」「幽霊坂」「祐玄坂」「行人坂」「唯念坂」そして「新坂」とも呼ばれていたそうだ。数年前まで木製の標識に名が刻まれていたが、現在は観光用の案内も記してある。この坂へぽつぽつと人が入っていく姿を見かける。観光客の様子ではなく、皆慣れた足取りで上っていった。

庚嶺坂を右手に通り過ぎ、先の坂を上り住宅街へ入った。急勾配の坂があちらこちらにあり息が切れ、汗もじわじわとかいてきた。上りきったと思えばまた上り、上がったと思えば今度は下り坂…。ちょっとしたハイキング気分を味わいながら住宅街の中を歩きまわる。



少し余裕が出た頃、周りを見渡すととても立派な住居が何軒もならんでいることにようやく気がついた。戦後の歴史を感じる重厚な家もあれば昭和後期のアパート、モダンなコンクリート造りの建物までもある。綺麗に手入れされた垣根、季節の花々、住民が思い思いの草木を植えたその住宅街はとても静かで歴史の経過を感じながら散歩することができる。

日本が終戦を迎える年の大空襲、この辺りはかなりの部分が焼けたと聞く。何もかもが様変わりした1945年、そこからの建物様式の移り変わり、人々の生活の変化を想像できる数少ない場所のひとつだと感じた。

その②へ☞

高村舞の体験記 グランヴィ神楽坂

神楽坂を経て江戸川橋方面へ少し歩くと、評判のリハビリプログラムを実施しているグランヴィ神楽坂という老人ホーム施設があると聞いて少し立ち寄らせて頂きました。グランヴィ神楽坂では「レッドロープ運動」と呼ぶプログラムで、元々はアスリートのファンクショナル（機能的）運動を基に派生したプログラムだそうです。天井から吊るされたロープで体重を支えたり、負荷を与えたりして筋力増強やストレッチングを効果的に行うもので、他にも姿勢改善や感覚器の向上にも効果的で転倒防止を未然に防ぐ事へも期待されているようです。

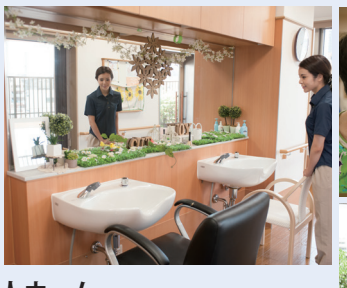
今回は施設長の那倉さんの計らいで体験をさせて頂きました。これが評判のレッドロープ運動なんですね。実際に参加して、びっくりするくらい背筋と腹筋に効くのを体感しました。単純な動きに見えるので、意外でした。

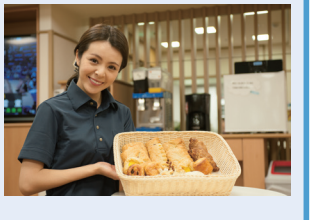
楽しく体を動かせて、聞けば利用者様にも評判で午前4回、午後4回と実施されているようです。

他にもコンセプトの「生活の楽しみがある。」を感じる所がたくさんあって、理美容室、屋外のテラス、ドリンクブースなど、部屋を出ると充実したパブリックスペースが多く用意されていました。食事は驚くほどに豪華で「これで通常ですか?」と聞き返してしまうほどです。

行事も「マグロの解体ショー」「納涼祭」など数々の企画も実施されていて本当に楽しそうな雰囲気が感じられます。パンも施設内で焼かれていて美味しいにおいが館内を包み込んだりもします。

詳しくは是非、ホームページで御確認ください。





介護付有料老人ホーム

グランヴィ神楽坂

- 現地住所：東京都新宿区東五軒町4-1
- 開　　苑：平成24年12月1日
- 施設形態：介護付有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護申請済）79床
- 施設特色：① リハビリに積極的に取り組める環境です。
  ② 医療法人社団『苑田会』との連携で築いてきた、医療機関との連携実績がありますので、医療依存度の高い方のご入居もご相談可能です。

※お問い合わせは、ハートランド相談室TEL：0120-84-8105まで。

華の街その② 歴史と文化に彩られた神楽坂エリアの坂道をそぞろ歩き

賑わう神楽坂　善國寺界隈

一時間ほど住宅街をのんびり回り東西南北がわからなくなる頃、だんだんと人が増えてきた。そのまま人々が向かう方へ身を任せ歩いて行くと神楽坂の中腹にでた。

夏目漱石が住んでいたことでも有名なこの神楽坂や地蔵坂の名は、他の文豪らもよく利用していたことでも知られている。地蔵坂は子安地蔵があったことに由来し、今でも周辺を日常的に使用する人からは「わらだな」とも呼ばれ親しまれている。「藁店（わらだな）」「藁坂（わらざか）」と別名をもつことからそう呼ばれ、藁を扱う店が多かった事でその名が付いたという説もある。神楽坂は本来早稲田通りであるが、この一部分だけは坂の名から「神楽坂」と呼ばれているのである。

新宿区　善國寺

神楽坂に突き当たるとすぐ左手に善國寺があった。頭上には真っ赤な提灯の羅列が遠くの方まで伸び、神楽坂の雰囲気を際立たせている。少し前までの閑静な空間から一気に繁華の世界に引き込まれた。観光客の半分以上が外国からの観光客の様で、様々な楽しそうな声が脇を通り過ぎていった。明治、そして戦後に再び栄えた頃までは芸者が多く行き交い、近所の人々の生活の中心だったこの周辺も、1日約1万人が出入りするまた違った繁華街へと変わった。開店している店も訪れる人も違えど、今も変わらず神楽坂は人を惹きつけている。そうひと昔前と今を思いながら歩いても、なかなかいい時間を過ごす事ができる。

神楽坂を登りきり大久保通りを通り過ぎたところに赤城神社がある。昔は「赤城大明神」と呼ばれ、明治維新の際、「赤城神社」と改められた。岩筒雄命（いわつつおのみこと）を祀り、学問芸術の神、殖産興業、厄難消除の神として今も大切にされている。元は群馬県の赤城山麓、大胡の豪族であった大胡彦太郎重治が牛込に移住してきた時、お国の鎮守であった赤城神社の分霊を祀ったのが最初と伝わっている。その後何度か焼失し、2度3度と場所を移し現在の位置に祀られている。

新宿区　赤城神社

路地に入れば小さな坂も多く、その形状からついた名も多くある
（上）鰻坂　うなぎざか　　（下）瓢箪坂　ひょうたんざか

神楽坂から左右に伸びる道に入ると更にまた細い小道がある。石畳の道。神楽坂を訪れる人はこの小道に入ることもあるだろう。一歩入るとこれまた昔の時に引き込まれる。規則的に石が敷き詰められた石畳、通りのすぐ脇を囲む木造の塀、塀の向こう側に見える立派な木造の家。料亭や旅館からであろう出汁の香りが漂い、遠いところで人々が賑わう音が聞こえてくる。今と昔を錯覚する様な、さも江戸時代を見ているかの様な気分になる。こんな石畳と石段が神楽坂の脇に何本か通っている。その界隈にはお洒落な店やカフェもあれば昔からの料亭もいくつもある。

鎌倉時代終盤、この辺りには行元寺（ぎょうがんじ）という敷地の広い寺があり、その土地を武家に貸したそうだ。生活をする中で路地ができ、その脇に花柳界ができていったこの路が、いまの石畳の道だと聞く。

神楽坂、地蔵坂、そして早稲田通り。今ではどこもアスファルトが引かれ車も通ることのできる道路であるが、この細い石畳の様に元々は人が足で歩いてできた道だったのだ。生活を取り囲む道はそうやってできたものだ。

写真・文章／Shiori Akima
1991年生まれ　11歳の頃より写真をはじめる。
商品撮影から取材、ポートレート等と多岐のフィールドで活躍中。